

SAF官民協議会発進

SAF官民協議会発進

経産省 ENEOSや日揮参画

経済産業省はこのほど、国土交通省と合同で「持続可能な航空燃料(SAF)の導入促進に向けた官民協議会」を立ち上げた。ENEOSなど大手石油元売り3社や、日揮ホールディングス、全日本空輸など需要家も参画する。SAFを輸入す

る選択肢も議論しつつ、早期のサブライチエーション構築を目指す。

SAFはジェット燃料に比べCO₂排出量を80%削減でき、航空業界のカーボンニュートラルに不可欠な燃料。国際民間航空機関(ICAO)は2027年からSAFを

義務化するとしており、30年には10%をSAFに置き換える目標が設定されている。

官民協議会では、当面、クリーンエネルギー戦略をはじめとした各種戦略へのインプットを念頭に、短期的な政策支援の必要性をヒアリングする。今夏以降には、輸入SAFを含めてサブライチエーション構築を検討するワーキンググループも設ける。

日本製鉄、厚鋼板を追加値上げ 5月分から1トン2万円

日本製鉄は、船舶や建設資材などに使う厚鋼板について、一般流通（店売り）向け価格を5月引き受け分から1トン2万円（15%程度）引き上げる。

主原料の鉄鉱石や製鋼用石炭（原料炭）などのコストが一段と上昇しており、製品に転嫁する。値上げは2カ月連続。2020年9月分からの値上げ幅は累計で1トン9万円となる。

厚鋼板は、厚さ6ミリメートル以上の鋼板類。建築や橋梁分野で受注案件ごとに加工事業者に納める「プロジェクト」向けも、同2万円引き上げる。建機などの大口需要家向けも、個別に値上げ交渉を進める。

需要は船舶や建設機械向けが堅調だ。大型の物流倉庫やデータセンター関連の引き合いも強い。

東京の転入超過、3カ月連続 3月の人口移動報告

総務省が26日発表した3月の住民基本台帳人口移動報告によると、東京都への転入者数が転出者数を3万3171人上回った。転入超過となるのは3カ月連続。新年度からの就職や進学に向けた引っ越しなどで、転入者数が多かった。

東京都の転入者は9万8812人と前年同月に比べて1.5%増えた。転出者は6万5641人と同5.6%減った。21年3月は2万7803人の転入超過だった。長引く新型コロナウイルス禍でテレワークの普及が進み、東京圏を離れる動きがあるとされるが、東京都のほか、埼玉県、千葉県、神奈川県はいずれも転入超過だった。

全日本トラック協会 燃料高騰で対策本部

ラ会
ト協
日本
全日
トラック

燃料高騰で対策本部

諸施策の実施や支援に力

全日本トラック協会（坂本克己会長）は、燃料価格高騰に対する諸施策を迅速かつ的確に実施するため、同協会に「燃料価格高騰対策本部」を設置した。燃料価格は、産油国による原油供給の不足に加え、ロシアによるウクライナ侵攻により7年ぶりの高水準となり、トラック運送業者は事業存続の危機に直面しているのが背景となっている。

同本部は、①荷主へコストに見合った適正な運賃・料金の收受および燃料サーチャージ導入促進など価格転嫁の対策に關わる施策実施②燃料油価格激変緩和事業等に関する効果の把握③関係省庁ほか公正取引委員会が昨年末に取りまとめた「パ

トナーシップによる価値創造のための転嫁円滑化施策パッケージ」に対応した施策の実施④燃料価格高騰に資する施策実施や支援に關わる要望活動の展開を主な業務とする。

なお、関係省庁では「パトナーシップによる価値創造のための転嫁円滑化施策パッケージ」に基づき対策を行っている。とくに公正取引委員会で今年3月に「令和4年中小事業者等取引公正化推進アクションプラン」を策定し、取引公正化のさらなる推進を図っている。

ウメモト インフォメーション

2022年4月27日

担当 坂田

価格修正ダイジェスト

食用油 5 ~ 30%

日清オйл
グループ

日清オイルオグループは、7月1日納入分から家庭用・業務用のオリーブオイル、ごま油、こめ油などを現行比5~30%値上げする。需給の逼迫、物流やエネルギーの費用高止まりなどの影響は食用油全般に及んでおり、価格を改定する。

価格修正

ダイジェスト

(4月18~22日)

とくに表記のないものは1キログラム当たり

□オフセット用印刷インキ

・DICクラフィックスが6月1日から商業オフ輪インキを40円以上、油性枚葉インキと新聞インキを60円以上、UVインキを100円以上値上げ。